

今日も「おかえり」 と語りかける矢作の街

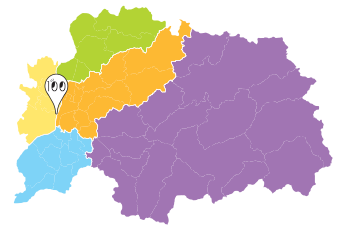
6



MESSAGE | 推薦文

矢作橋を渡り終えるころ視界に広がる夕暮れ時の矢作の街の風景。仕事を終えた日、家族で遊びに出かけた日、遠い昔大学からの帰省の日…。今日は少し疲れたね。楽しかったね。やっと帰ってきたね…。今日も「おかえり」と語りかけてくれる。僕らが死んだ後も、多少この街が変わっても、きっと残る、僕らの子や孫もほかの誰かも、きっと見続け、感じ続けるであろうこの風景。いつまでも故郷の矢作の街なみ…。明日もきっと晴れる。

LOCATION | アクセス



推薦人：カルマンGT
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成26年5月午後5時



矢作の里の残したい風景

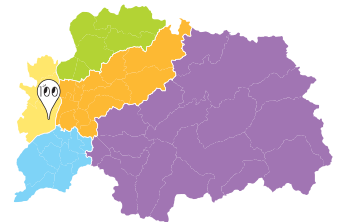
7



MESSAGE | 推薦文

収穫前、辺り一面に広がる黄金色の麦畑。市街化の波は押し寄せて来ているけれども、今年も収穫の秋には辺り一面黄金色に染まり、波打つ。幼い子供らを毎朝保育園に送り届け、仕事に向かい、夕刻迎えに行った時のこの風景…。子は育ち大きくなってゆく。この地も次第に変わってゆくであろう。時代は移ろえども、土を耕し、種をまき、水をやり、下草を刈り、育て上げる…人々の営みの礎となる尊い仕事。残したい矢作の里の風景だ。

LOCATION | アクセス



推薦人：カルマンGT
居住地：矢作町
撮影場所：矢作町
撮影日時：平成26年6月午後5時



青空の下のサンドアート [矢作川アースワーク]

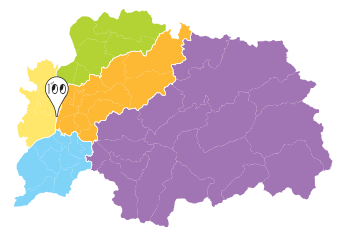
10



MESSAGE | 推薦文

澄み切った青空の下、笑顔あふれる表情で作品に取り組む子供たち。昭和44年（1969）から続く矢作中学校の伝統行事はGWの風物詩として地元の方々にも親しまれ、当日は多くの方が見物に訪れます。毎年テーマに沿って作られる作品も、雨や風によって徐々にその形が失われていきます。初夏のわずかな期間にしか見られない作品たち。今年はどんな作品が見られるのでしょうか。

LOCATION | アクセス



推薦人：熊谷 一哉

居住地：大和町

撮影場所：矢作町

撮影日時：平成27年5月1日午前10時30分



古代のロマンあふれる 大友皇子古墳と史跡群

20

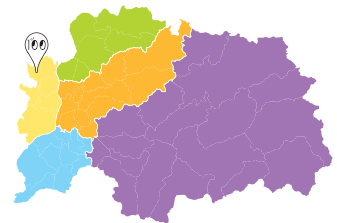


私有地の為、公開日制限あり 〈公開日〉日曜日 〈駐車場〉小針研修センター（小針町神田）

MESSAGE | 推薦文

西暦672年、じんしん壬申の乱で大海人皇子（後の天武天皇）に敗れた
てんじてんのう天智天皇のちやうし長子・大友皇子は、ひそかに大津を逃れ、岡崎の大友（丸
おおとものみこ藪之館）に移り住み、小針の地にほうむ葬られたという伝承があります。
 大友皇子古墳（小針町）の近くにはおおともてんじんじゃ大友天神社（西大友町）や神明
ごりやうひ社・皇子御陵碑・皇子館跡（東大友町）等の史跡群が点在していま
 す。歴史ある岡崎の地で、万葉時代のロマンあふれる大友皇子古墳と
 その史跡群を訪ねてみては如何でしょう。

LOCATION | アクセス



推薦人：石田昇 / 鳴海忠孝
 居住地：宇頭町 / 戸崎町
 撮影場所：小針町
 撮影日時：平成27年5月5日



エネルギーの大量摂取で元気 になれる-渡橋から見る朝日

46

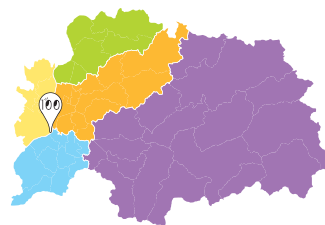


MESSAGE | 推薦文

冬至の朝、8:30ごろ。
渡町から上和田に向かっ
て橋を渡るとちょうど太
陽が目の前にあり、自分
が朝日に向かっていく感
じ。エネルギーが身体中
に溢れてくる。わあー明
るい！あったかい！悩ん
でいてもちゃんと朝はく
る。未来はきっと明るい
よ。ずっとこの景色に力
をもらいたい。高いビル
は建たないでほしい
なあ。

「渡橋 行く手に登る 冬至の陽」

LOCATION | アクセス



推薦人：竹本 佳恵

居住地：上和田町

撮影場所：天白町

撮影日時：平成27年1月3日午前8時



上宮寺の銀杏

52

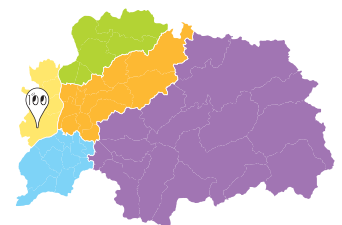


MESSAGE | 推薦文

上宮寺は一向一揆の舞台になったお寺。1988年(昭和63年)の火災で焼失し本堂は近代建物となってしまったが、片隅に火を浴びながらも焼け残った銀杏がある。ほとんどが焼け葉をつけることもないが確かに生きている。命の尊さを思わせてくれる場所である。これからも生きつづけ、生きることの大切さ、重さを伝えてほしい。



LOCATION | アクセス



推薦人：小竹 央朗
 居住地：竜美西
 撮影場所：上佐々木町
 撮影日時：平成27年3月14日午前10時



矢作の地に400年 の歴史を誇る花のとう

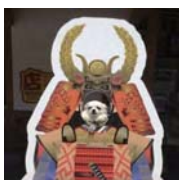
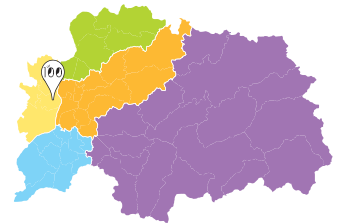
57



MESSAGE | 推薦文

花のとうは毎年五月上旬に矢作町旧東海道で開催されるお祭です。みどころはお釈迦様の誕生を祝い甘茶がふるまわれます。『おためし』は誓願寺内の東西のお堂にそれぞれ作られた春と秋の農作業風景の模型からその年の作物の豊凶を占います。また、菅生川に身を投げ悲恋の死を遂げた浄瑠璃姫の墓があり、歴史を偲ぶ事ができます。私が小学生の時は金土日と開催していて屋台が並ぶ道を登校して楽しみでわくわくしていました。開催日が母の日に近いのでカーネーションを買っていたのが思い出です。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成27年5月10日

2016.7.1
 100th
 ANNIVERSARY
 KAZAKI
 岡崎市制施行100周年

100
 岡崎百景
 OKAZAKI HYAKKEI

伝統を守りぬく！ 矢作町三区の山車

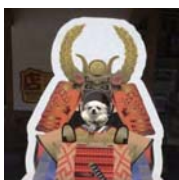
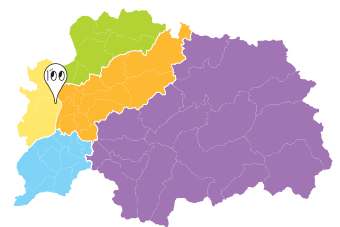
58



MESSAGE | 推薦文

矢作町三区^{だし}の山車は10月1、2日が土日に重なる年は山車の街引きが行われます。山車を動かすために多くの人が必要です。保存会の会員は高齢化が進み、山車の仕組みや技術を持った後継者が少ないことを懸念しています。平成26年（2014）には若い世代へ伝えるために山車の一部を解体し世代を超えて作業をしました。また山車にかかせないおはやしも後世に伝えるために日々練習し音色をつないでいます。矢作町三区という小さな町で伝統を守り続けていくためには多くの力が必要です。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成26年5月25日



水田に眠る紫石伝説

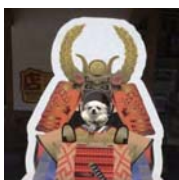
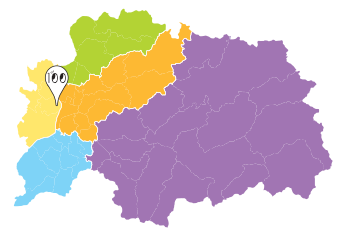
59



MESSAGE | 推薦文

矢作東小学校から東へ約50mの田んぼの中に木立こだちがあります。何も知らない方ならば通りすぎてしまうでしょう。しかし、そこには紫石むらさきいしがあります。実際は紫石ではなく石碑でんせつちがあり紫石伝説地、兼高長者けんこうちやうじゃ…と彫られています。紫石伝説は諸説あり洪水を鎮めるため地中深く埋まっているなど伝説にふさわしい内容です。小学生の頃はこの石碑のまわりの田んぼで田植えや稲刈りをしておいしいお餅を友達と食べたのが思い出です。宅地化が進む中、伝説の地の風景が失われないことを望みます。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成27年5月10日



圧巻の壁画 誓願寺の十王堂

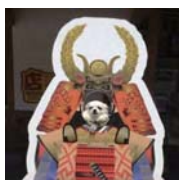
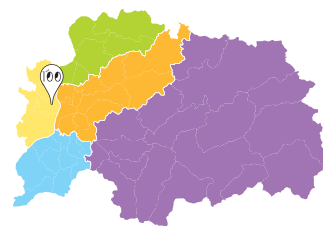
60



MESSAGE | 推薦文

矢作町旧東海道沿いにある誓願寺十王堂。長徳3年（997年）恵心僧都が溺死した当時の住僧の慶念の冥福を祈り、堂を建て千本地蔵菩薩を造って安置した。時代は下り寿永2年（1183年）矢作の里の兼高長者の娘、浄瑠璃姫が源義経を慕うあまり菅生川に身を投じたので、長者はその遺体を埋葬し、十王堂を再建して義経と浄瑠璃姫の木像を作り、義経が姫に贈った名笛「薄墨」と姫の鏡を安置しました。壁面には地獄極楽の有り様が描かれています。毎年5月に開催される花のとうでは堂内を見ることができます。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成27年5月10日



隠れた名所 石田茂作の廃瓦塔

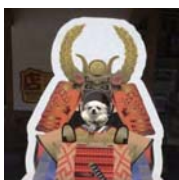
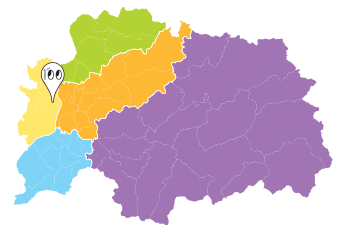
61



MESSAGE | 推薦文

いしだもさく
石田茂作は明治27年（1894）矢作町で生まれ数々の功績を残している岡崎市名誉市民です。廃瓦塔は矢作町旧東海道より奥に入った場所にあります。石田茂作の生家がリフォームを行った時に先祖代々が雨露を凌がせてもらった屋根瓦を不要になったからといって破棄するのに忍びず何か保存する方法はないかと思案の末、梅園町春谷寺しゅんこくじを参考に建立しました。塔内部には友人知人の法名俗名ほうみょうぞくみょう すみがきを小塔に墨書して納めたといひます。まわりの景観が変わってもこの場所で今日も静かに立っています。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
居住地：矢作町
撮影場所：矢作町
撮影日時：平成27年5月10日



子ども時代へタイムスリップ！ 思い出の散歩道

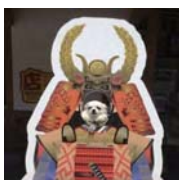
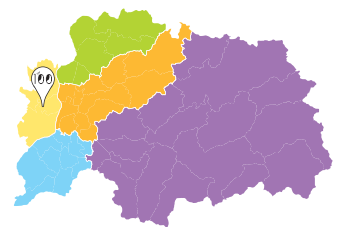
62



MESSAGE | 推薦文

北本郷町と東本郷町の境に広がる田園風景。近くには鹿乗川が流れ宅地化が進む中の自然が多くみられる場所です。小さい頃は田んぼ道は舗装もされておらず裸足で走りまわれるくらいでした。ひとりで散歩したり友達と遊んだりたくさんの思い出があります。大人になった今この道を通るたびに子どもの頃を思い出します。鹿乗川沿いには市政100周年を記念し桜の植樹が行われました。数十年後には桜並木が楽しめると思うと今からとても楽しみです。

LOCATION | アクセス



推薦人：いしだひろみ
居住地：矢作町
撮影場所：北本郷町
撮影日時：平成26年5月19日



今も昔も人と人を つなぐ架橋、矢作橋

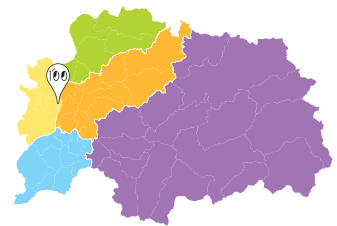
64



MESSAGE | 推薦文

現在の矢作橋は何代目か知っていますか？平成23年に完成した今の矢作橋は16代目。浮世絵にも描かれた矢作橋からは、岡崎城や八丁味噌蔵が今も見えます。晴れた日には遠くに御嶽山も見えます。橋の西側には出合之像。これは幼い頃の豊臣秀吉と蜂須賀小六の出会いの逸話を伝えるもの。遠い遠い昔も、この矢作川には橋が架かっていて、多くの人が往来したのだと思うと、歴史を感じるのです。矢作橋を岡崎城に向かって渡ると、江戸時代へタイムスリップしてしまいそうなくらいに…

LOCATION | アクセス



推薦人：鶴田 真希
 居住地：矢作町
 撮影場所：矢作町
 撮影日時：平成27年11月午前11時

